

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	平成28年度 第5回高松市在宅医療連携会議
開 催 日 時	平成28年1月25日(水) 19:00~20:30
開 催 場 所	高松市医師会館 2階 大会議室
議 題	1 「在宅ケア便利帳」の発行について ◆①配布数 ②送付先・数一覧、納入先・数一覧 ◆広報スケジュールについて 2 退院支援・医療介護連携部会の報告と「第3回退院調整・地域連携打ち合わせ会」の実施について 3 在宅医療コーディネーター養成研修会について 4 平成29年度に向けた取組について 5 在宅医療と介護に関する市民公開講座の開催について 6 その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	13人
	吉澤委員長、青木委員、安藤委員、大橋委員、長内委員、片山委員、田中委員、辻委員、永岡委員、中村委員、坂東委員、古川委員、松本委員
関係者	市医師会事務局(3人) その他: 医師会(伊藤副会長)、歯科医師会(森井常務理事)、県随行(1人)
傍 聴 者	0人
担 当 課 及 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進室 839-2345 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811 保健対策課 地域医療対策室 839-3805

協議経過及び協議結果

1 「在宅ケア便利帳」の発行について(資料1、1-1、1-2、1-3)

(A委員) 総合病院対応は、病床数が200以上の病院として考えているのでしょうか。

(委員長) 二次救急の病院群輪番制方式による施設プラスリハセンと香川大学です。

(A委員) はい。わかりました。

(委員長) ご要望等ございましたら、今の内ならまだ大丈夫です。資料1-3広報スケジュールですが、市民公開講座が2月19日にありまして、そのプログラムの中に概要版を参加者全員に配ると、詳細版の中身を紹介するようにしています。包括支援センターや総合センターには常に置いてありますか。

(事務局) 総合センターも地域包括支援センターにも置いております。

(委員長) 皆さん中身をご覧いただきまして、もし誤字脱字、間違いなどお気づきの点がございましたら、医師会事務局の方に連絡していただいて、訂正が必要なものは、次回の修正の時に参考にしたいと思います。便利帳専用のビニールカバーや透明カバーはできませんか。たぶん辞書のように何度も使うと思うので。

(事務局) 図書館のカバーみたいなものですか。

(委員長) そうです。持ちが全然違いますので。表紙だけでも、もしできればですけど。

(事務局) 少し補足させていただきます。広報スケジュールですが、専門職向けと、一般市民向け毎に分けていると書かせていただいております。一般市民向けには、ケアマネジャーから要介護認定を受けている人にお渡しいただくようにしています。居宅支援事業所連絡協議会の研修会が2月に3回ありますので、その機会にケアマネジャーに依頼予定です。それから広報にも掲載しますので、一般市民の方が配布を希望される場合は、地域包括ケア推進室で対応したいと思っております。それから委員の皆さんにお願いしたいのですが、それぞれの所属団体から便利帳を周知いただきますよう、よろしくお願い致します。納入は2月8日以降の予定ですが、それ以降、団体でお集まりの機会等ございましたら、説明を加えて、周知していただければと思います。それから、2月5日日曜日に、2月19日の市民講座の広告が四国新聞に掲載されます。また、2月19日の市民公開講座の後、その発言をまとめたものが、3月12日に四国新聞に掲載される予定です。3月1日号の市報にも掲載しますので、順次問い合わせ等があるかと思いますが、何かございましたら、推進室の方にお問い合わせください。

(委員長) もし皆さん方が、いろんなところで勉強会とか講演会に行かれる時には、この便利帳をご自由に使っていただいて構いません。実物を見せるなり、中をスライドで見せるなり、ただし高松市が著作権を持ってここで作ったということは明記してください。各病院の情報については気を付けてください。全体的な概要としてこれを使うのは構いません。

2 退院支援・医療介護連携部会の報告と「第3回退院調整・地域連携打ち合わせ会」の実施について(資料2、2-1)

○B 委員より、退院支援・医療介護連携部会の報告がある。

→質問等なし

3 在宅医療コーディネーター養成研修会について(資料3)

○C 委員より、資料3の説明がある。

→質問等なし

4 平成29年度に向けた取組について(資料4)

○事務局より資料4の説明がある。

(C 委員) 毎年言っているのですが、コーディネーター養成事業をするのであれば、なるべく早い時期から準備したいです。毎年10月くらいから予算がどうと言いながら、今の所は県外の講師の先生方にも無理やり来ていただいているのですが、準備期間が

1か月や2か月で、6回のスケジュールと外部講師のセッティングをするというのは、通常では考えられない。実施すると決定したのであれば、予算は関係なく最低でも三か月前くらいには計画表を作成する等余裕をもっていかないと。今回二ノ坂先生にお願いするにあたっては、1週間でもお願いしましたから、もう少し余裕をもった取組をしたい。余裕があればあるほど充実した講習ができるということでご理解いただければと思います。

(D 委員) 国の内示は夏くらいにはでている。私としてはどうなのかと正直思っているのですが。事務的な制約がありますので。

(C 委員) 内々にしても準備をしてくださいと・・・

(D 委員) 事務的に進めることについては、当然問題ありません。直接県のお金とかを使いますと仕切って書類を作っていくことはできないのですが、内々にこの予算が付きそうなので、この準備をお願いしますという事前着手は当然しておりますので、あとどこまでいけるかという・・・個別に相談いただくことになると思います。

(C 委員) 予算が跳ね上がるわけであれば、前年と同程度のスケジュールで、予算はこの程度でとりあえず準備してくださいという返事だけでも夏くらいにいただければ、準備期間は余裕を持てると思います。スケジュールの調整が大変なので。

(事務局) 今までには内示があってから補正予算で計上していたのですが、今年度につきましては、特殊な予算で出しておりますので、国の内示が5月か6月に得られた時点で着手できると思います。事前着手は難しいと思いますが・・・

(C 委員) 行政なのでなかなか約束はできないかもしれないが、とりあえず、去年やってきたことが、今年もできるというイメージで、最終的な承認がおけるのは毎年10月の予算ということですね。

(事務局) 国の内示が5月とか6月でしたら、そこで予算が執行できますので。

(C 委員) 補正予算ではないのですか。

(事務局) 補正予算ではありません。

(委員長) また今後のことにつきまして、徳島市がどうやっているか等聞いていきたいと思えます。松山市の在宅医療支援センターの運営費は医療介護総合確保基金から出ています。今の香川県の様なり方ではいけないので、その資金はどうやっていくのか。我々も調べますけど、そのあたりを調べて頂いて。もったいないですね。大きい金額がおることが可能なのに、毎年縮小してしまうのは。ありがとうございます。それでは次の議題にいきます。

5 在宅医療と介護に関する市民公開講座の開催について (ちらし)

○事務局よりちらしの説明がある。

→質問等なし

6 その他

【次回の日程】

平成28年度第6回高松市在宅医療連携会議を、平成29年3月22日(水)19:00～高松市医師会館にて開催することとなる。